

校長室から
(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 1

平成30年4月9日(月)発行

夢の実現のために必要なこと

みなさんは、大谷翔平(おおたに しょうへい)というプロ野球選手を知っていますか。野球に詳しくない人でも一度は耳にしたことがあるでしょう。大谷選手は、ピッチャーとバッターを両立する“二刀流”(にとりゅう)という不可能と言われた偉業に挑戦し続けている選手で、時速165kmというプロ野球の日本記録を樹立しています。今年からアメリカメジャーリーグのエンジェルスに移籍し、高校生の時に抱いた「アメリカメジャーリーグで活躍する」という夢を実現する飛躍の時を迎えている選手です。すでに、4/2(月)にピッチャーとしてアスレチックスに初勝利し、4/3(火)、4(水)、6(金)とバッターとして3試合連続でホームランを打っています。今朝(現地は8日)も、ピッチャーとして2勝目の権利をもって降板しました。

彼は、どうして夢を叶えられたのでしょうか。彼は高校1年生の時に、目標達成表を作りました。将来、メジャーリーグで活躍することを夢見ていた彼は、高校卒業時の目標を「ドラフト1位で8球団」と立てました。これは日本プロ野球が新人選手を選択するドラフト会議で、12球団のうち8球団から1位指名を受けるといってつもなく高い目標です。

彼は、この目標を達成するために、高校の間に到達しなければならない、八つの目標を立てました。それは「体づくり」「スピード時速160km」「コントロール」「変化球」「(球の)キレ」「メンタル」「人間性」「運」の八つです。そして、この八つの目標を達成するため、それら一つひとつの目標に対して、さらに、それぞれ八つの課題を自らに課しています。八つの目標に対して八つの課題、つまり8×8=64個の課題です。その内容は「フォークボールの完成」「リリースポイントの安定」といった専門的なものから「あいさつ」「ゴミ拾い」といった普段の生活での課題にまで及びます。彼はこれらの課題克服に向け、高校の3年間、生活や練習で地道に努力を積み重ね、目標を達成しました。

大谷選手は、10年に1人と言われる才能あふれる選手です。誰でも彼のようにになれるわけではありません。でも、みなさんが自分の夢を実現するために、彼がそうであったように、夢に向けて目標を持ち、それを達成するには何が必要かを考え、それを克服する努力を地道に続けることが大切ではないでしょうか。将来の夢の実現に向け、新たな気持ちで新年度をスタートさせましょう。

東奈良小の「ひ・が・し・な・ら」

平成30年度の新学期がスタートしました。子どもたちは、新しい教室で、新しい先生や友だちと新たな気持ちで頑張ろうと思っています。本年度も学校教育目標である

「自ら考えて、進んで行動する子どもの育成」

の具現化に向けて、教職員一同がんばっていく所存です。
さて、本校の期待される学校像は、次の通りです。

「児童にとって楽しい学校」

「教職員にとって活力ある学校」

「地域にとって開かれた学校」

- ・Change 学校を 子どもを変えていく
- ・Challenge 魅力ある教育課程を編成し、
創意工夫ある教育活動の実施
- ・Chance 学校・地域・家庭との連携を深め、特色ある教育の推進

この具現化に向けて、昨年「ひ・が・し・な・ら」で言葉を作りました。

「ひ」とつにみんなでまとまろう！

- ・学級、学年、学校が大好きな子 → **愛校心** の醸成

「が」くりょくと体力をのばそう！

- ・しっかり学習する子
→ **学力** と **体力** の向上

「し」っかり生活しよう！

- ・掃除や係活動など、何事にも一生懸命取り組む子 → **自分力** の向上

「な」かよく友だちとすごそう！

- ・友だちを大切にする子
→ **つながり力**

「ら」んらん 夢に向かう 東奈良っ子！

- ・夢に向かって努力する子 → **ゆめ力**

子ども達には、この「ひ・が・し・な・ら」を意識して、毎日の学校生活を頑張っ